

あれも國府の建——延暦二十年より二十
二年の百あへ——延暦二十二年の翌年ハ二十
一代 平城天皇の神治世として大同と開
元より又年を經て又十二代 嵯峨天皇
弘仁二年國村麻呂薨——あふ東夷を討あふ
年より薨あふ年あて十一年なり羽深記
ハし毫も長官堂合戦の条下に菅田村丸利仁
安倍高丸と軍の討官軍殺度亦負て僅ハ
残るをを隨へ利仁是ハ隠れあふを討高丸
大の弟等に麻呂出羽守武行といふ別の者

殺る殘りて追殺る——と云く麻呂出羽守といふ
人に見る——是等なるを説之但飽海郡吹浦
の社山西の上ハ麻呂殺といふありそ色ハ
安倍高の堀といふもあり又據る——高
祥三年ハ又十代 仁明天皇の神字に
——て當年といハ九十一^百年ハ佐正店月記ハ
文正の季流ありて川口水を堀——事七
里を白鬚水といふ——といふたゆふハ祥
を文正と辨誤を——もや実誤ハ六里所大
川崩壊とあり小誤あれたそ高誤大同と